



弘大に寄付講座 ライオンが新設

口腔、睡眠状況を研究

弘前大学大学院医学研究科(若林孝一研究科長)が日用品大手のライオン(本社・東京都)による寄付講座「オールラールヘルスケア学講座」を新設し13日、設置開設式を同研究科で開いた。

両者は口腔、睡眠の状況と全身の健康の関係について研究を進め、生活習慣病予防のための商品・サービスの開発を目指す。

設置期間は今年5月から2019年3月末まで。弘

大によると医学研究科にオールラールヘルスケア講座を開設するのは全国で初めて。同社は、弘大が文部科学省の採択を受けた革新的イノベーション創出プログラム(COI)に15年から参画。弘大などが弘前市岩木地区で進めてきた「岩木健康増進プロジェクト」のビッグデータを基に研究し、10年以内に生活習慣病予防に役立つ商品・サービスの開発を目指す。同社による単独の大学への寄付講座は初。

式には、同社の岡野知道研究開発本部長らが出席。岡野本部長は「皆さんの指導を仰ぎながら、国民の口腔ケアについて一段階レベルを上げたい」、若林研究科長は「本講座は全国的に例がなく先進的な取り組み。COI推進にとっても非常に力強い」と感謝した。

(秋村有香)

講座の看板を手にする若林研究科長(左から3番目)と岡野研究開発本部長(同4番目)